

第1学年2組 総合的な学習の時間学習指導案
単元名：防災学習（土砂災害）～知ろう、伝えよう 土砂災害～

本単元で育成を目指す資質・能力【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体性】

指導者 呉市立和庄中学校 空本 秀大

日 時 令和3年9月8日（水）
場 所 呉市立和庄中学校 第1学年2組教室
学 年 第1学年2組（男子16名 女子18名 計34名）

単元について

○単元観

本単元は、本質的な問い「どのように地域に貢献していくか」を基に構想し、地域で災害が起こったとき、どのようにすれば減災できるか、その課題について調べ、解決していくことを通して、本中学校区で設定した資質・能力【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体性】を育成することをねらいとしている。

本中学校区は、平成30年7月に起きた西日本豪雨災害では直接的な被害は少なかったが、水道が使えない地区があり、本校生徒も水の運搬ボランティアに多数が参加した。その後も、毎年のように大雨警報・土砂災害警戒情報が発令され、臨時休校を余儀なくされている。生徒が身近に体験する災害について学習課題を設定することで、防災や減災の知恵を学び、地域の人々に伝えるための手段を学ぶなど目的意識を持って探究することができる考えた。

本単元では、土砂災害対応携帯マニュアルから得られる情報を調べることからスタートし、調べたことが理解できないときは専門家に話を伺ったり、ICT機器や図書を用いて調べたりして学習を進める。その後、自分たちにできることを企画・実践することで、地域の一員として地域に貢献できることについて、生徒一人一人が考えをもつことができるように展開していく。その中で、生徒は、普段は見えにくい地域を支えている人たちの存在を知る。防災について自分たちが企画した活動を実行しようとする中で、自分たちも地域に貢献できるという思いを持つことができると期待している。このような学びの姿は、本質的な問い「どのように地域に貢献していくか」を具現化するものであり、本中学校区で設定した資質・能力の育成につながると考える。

○生徒観

本学級の生徒は、これまでの学習を通して、課題解決に向け積極的に挑戦しようとしている。本単元に関する事前アンケートでは、「課題や目的に応じて必要な知識や情報を収集することができる」について「よくできる」「まあまあできる」と肯定的な回答をした生徒が82%いた。しかし、「既習の知識や情報を用いて、なぜそうするかを論理的に説明できる」について肯定的な回答をした生徒は59%にとどまった。生徒は知識の収集はできるが、それを整理・分析し、論理的に説明する能力に課題があることが分かった。そのため、収集した情報を整理・分析し、論理的に説明をする学習が必要だと考える。

防災に関しては、豪雨災害を体験していることから生徒の関心は高い。毎年、「土砂災害対応携帯マニュアル」を配付し、避難訓練も行っている。しかし、「土砂災害対応携帯マニュアル」について、その理解に個人差がある。平成30年豪雨災害での教訓を風化させないために、より自分事として考えさせることが必要だと考える。

本単元に関わる事前アンケート

- | | |
|---|-----|
| ① 課題や目的に応じて必要な知識や情報を収集している。・・・・・・・・・・・・・・・・ | 82% |
| ② 既習の知識や情報を用いて、なぜそうするかを論理的に説明している。・・・・・・・・ | 59% |
| ③ 自ら進んで課題解決に向けて、積極的に挑戦している。・・・・・・・・・・・・・・・・ | 91% |
| ④ 土砂災害に関して、国や県がどのような対策をしているか知っている。・・・・ | 78% |
| ⑤ 土砂災害が起こった時、自分の避難方法を知っている。・・・・・・・・・・・・・・・・ | 97% |

○指導観

指導に当たっては、次の点に留意する。

【探究的な見方・考え方を働かせるための各教科等との関連】

探究的な活動を支える土台として、探究的な見方・考え方を働かせることを重視し、各教科と横断的な学習を行うとともに、効果的に関連させて単元を構成する。

まず、理科単元「大地の変化」において、大地の変動や、災害に備えるためにどのような取り組みをしているのかを学習し、防災の視点で自分たちがどのようなことができるかという問いを持たせる。

また、国語科では、次の2つの単元と関連させる。1点目は、「防災に関するデータ」で学習した内容を活かし、情報を収集し論理的に考えることで、どのように避難するとよいか土砂災害が起こるしくみをふまえて説明する場面を設定する。2点目は、「スピーチ」で、整理した情報を人に分かりやすく伝える学習を行い、その学習を活かし、相手や目的に応じて整理した情報を分かりやすく表現する場面を設定する。

このように、各教科等との関連を生徒に意識させることで、自分たちの課題解決のためには各教科等での学びが活用できることを実感させたい。

【生徒自ら問いを見いだすためのしかけ】

単元を通して、本質的な問い「どのように地域に貢献していくか」を意識させ、「自分と地域の関わり」「自分の生き方」に関わって、生徒自ら問いを見いだすことや、新たな問いを見いだすことができるよう、しかけを入れて単元構成を工夫する。

第1次では、土砂災害対応携帯マニュアルや自主防災組織の方から地域の危険箇所や避難所の場所などについて学ぶことを通して、地域で土砂災害が発生したとき具体的にどのようにすればよいのかという問いを持たせる。

第2次では、県の砂防出前講座や呉市危機管理課のハザードマップ講座で土砂災害のしくみや砂防堰堤などの取組を学ぶことを通して、県や市の取組をふまえた上で自分たちは土砂災害が発生したとき具体的にどのようにすればよいのかという問いを持たせる。

第3次では、中国新聞社の新聞づくり講座を通して、自分たちが学んだ防災・減災の知恵はどのようにしたら地域の人に伝わりやすいのかという問いを持たせる。

単元を通して、土砂災害について防災・減災の視点で調べる活動から「土砂災害から自分自身や家族・地域を守るために何ができるのか」といった一人一人の課題意識を持つことにつながると考える。また、地域の一員として、自分たちにできる防災・減災の方法を実行させ、達成感を味わわせることで、自分たちが地域に貢献していることを感じ、今後、地域の課題解決に向け、更に主体的に関わることのできる姿を期待している。

単元の目標・評価規準

【単元の目標】

防災や減災に取り組んでいる人々と関わったり、防災や減災について調べたりすることを通して、土砂災害から自らの命や家族・地域の人々を守るために何ができるか考え、実践に活かすことができる。

【評価規準】

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性
① 防災・減災に関わる情報について、内容を理解している。 ② インタビューや調べ学習など、目的や対象に応じた調査を実施している。 ③ 防災・減災に関する課題を解決するために必要な情報について、インタビューやインターネット、図書など多様な方法で収集している。	① 集めた情報から、自らが取り組む課題を明らかにしている。 ② 集めた情報を分かりやすくまとめ、伝えている。 ③ 収集した情報を論理的に整理・分析し、課題解決の方法を考えている。 ④ 相手や目的に応じて、ICT機器を活用し、分かりやすく表現している。	① 自分や家族・地域の人々を土砂災害から守るためには何をすべきか、自らすすんで課題を見つけ、課題解決のための方法を考えようとしている。 ② 異なる意見や他者の考えを受け入れながら、自分ができる防災や減災の方法を考えようとしている。

単元計画

(全 35 時間) 本時は 26/35

〈本質的な問い〉 私たちは、どのように地域に貢献していくのか。

次 (時)	学習内容 【他教科との関連】	評 価	
		評価規準 (評価方法)	資質・能力
一 (一〇〇)	課題の設定 ○ 土砂災害対応携帯マニュアルをもとに、土砂災害から身を守るために何をすべきか考える。 (2時間) 資料：平成30年土砂災害の被災状況の写真	・防災・減災に関わる情報について、内容を理解している。 ・自分や家族・地域の人々を土砂災害から守るためには何をすべきか、自らすすんで課題を見つけ、課題解決のための方法を考えようとしている。 ・集めた情報から、自らが取り組む課題を明らかにしている。 (ワークシート・総合事前アンケート)	知識・技能① 主体性① 思考力・判断力・表現力①
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">身近な土砂災害を知ろう</div>		
	情報収集 ○ 身近な土砂災害について情報を集める。 (5時間) 自主防災組織の方へのインタビュー/フィールドワーク/インターネットや図書での調べ学習 【国語 防災に関するデータ】	・インタビューやフィールドワーク、調べ学習によって、目的や対象に応じた調査を実施している。 (ワークシート・発言) ・防災・減災に関する課題を解決するために必要な情報について、インタビューやフィールドワーク、インターネット、図書など多様な方法で収集している。(ワークシート)	知識・技能② 知識・技能③
	まとめ・表現 ○ 集めた情報をまとめて、意見交換する。 (2時間)	・集めた情報を分かりやすくまとめ、班やクラスの人に伝えている。(ワークシート・発言)	思考力・判断力・表現力②
整理・分析 ○ 集めた情報を整理し分析し、防災・減災に資する次の課題を捉える。 (1時間)	・収集した情報を論理的に整理・分析し、次の課題を考えている。(ワークシート)	思考力・判断力・表現力③	

【単元を貫く課題】土砂災害から自分自身や家族・地域を守るために、何ができるのか。

<p>二 二 〇</p>	<p>新たな課題の設定</p> <p>○ 呉市のハザードマップをもとに、防災・減災に強い町をつくるには何が必要か考える。 (1時間)</p>	<p>・集めた情報から、自らが取り組む課題を明らかにしている。 (ワークシート)</p>	<p>思考力・判断力・表現力①</p>
<p>防災・減災の取組を学ぼう</p>			
	<p>情報収集</p> <p>○ 呉市危機管理課による指導のもとに、和庄地区ハザードマップを作り、改めて土砂災害の危険性について把握する。 (3時間)</p> <p>○ 県砂防課による砂防講座で、土砂災害の起きるしくみや砂防の取組を知る。(2時間)</p> <p>【理科 大地の変化】</p> <p>○ 土砂災害を防ぐためにどのような取り組みを進めているかを調べる。 (2時間)</p> <p>整理・分析</p> <p>○ 集めた情報を整理し分析し、防災・減災について学んだことを、活かす方法を考える。 (1時間)</p> <p>まとめ・表現</p> <p>○ 防災・減災について学んだことを、活かす方法について意見交流をする。(1時間)</p> <p>【国語 スピーチ】</p>	<p>・集めた情報を分かりやすくまとめている。(ハザードマップ)</p> <p>・集めた情報から、自らが取り組む課題を明らかにしている。(ハザードマップに貼った付箋)</p> <p>・防災・減災に関わる情報について、土砂災害の起きるしくみや砂防堰堤など砂防に関わる取組内容を理解している。 (ワークシート)</p> <p>・防災・減災に関する課題を解決するために必要な情報について、インタビューやインターネット、図書など多様な方法で収集している。(ワークシート)</p> <p>・収集した情報を論理的に整理・分析し、課題解決の方法を考えている。 (ワークシート)</p> <p>・異なる意見や他者の考えを受け入れながら、自分ができる防災や減災の方法を考えようとしている。(ロイロノート・ワークシート)</p>	<p>思考力・判断力・表現力②</p> <p>思考力・判断力・表現力①</p> <p>知識・技能①</p> <p>知識・技能③</p> <p>思考力・判断力・表現力③</p> <p>主体性②</p>

<p>三 二 五</p>	<p>新たな課題の設定</p> <p>○ 防災・減災について調べたことを地域の人たちに伝えるための方法を考える。(1時間)</p>	<p>・自分や家族・地域の人々を土砂災害から守るためには何をすべきか,自らすすんで課題を見つけ,課題解決のための方法を考えようとしている。(ワークシート)</p>	<p>主体性①</p>
<p>防災・減災の知恵を伝えよう</p>			
<p>情報収集</p> <p>○ 新聞社の方から情報のまとめかたを学ぶ。(1時間)</p>	<p>・防災・減災に関する課題を解決するために必要な情報について,インタビューで収集している。(ワークシート)</p>	<p>知識・技能③</p>	
<p>整理・分析</p> <p>○ 防災・減災について調べたことのうち,新聞で伝えるのはどの内容にするのか考える。(1時間)</p>	<p>・収集した情報を論理的に整理・分析し,課題解決の方法を考えることができる。(ワークシート)</p>	<p>思考力・判断力・表現力③</p>	
<p>まとめ・表現</p> <p>○ 防災・減災について調べたことを新聞形式でまとめる。(4時間)</p>	<p>・集めた情報を分かりやすくまとめている。(ロイロノート相互評価)</p>	<p>思考力・判断力・表現力②</p>	
<p>【本時第3時】</p>			
<p>整理・分析</p> <p>○ 防災・減災について調べたことのうち,タブレットのスライドアプリで伝えるのはどの内容にするのか考える。(1時間)</p>	<p>・収集した情報を論理的に整理・分析し,課題解決の方法を考えている。(ワークシート)</p>	<p>思考力・判断力・表現力③</p>	
<p>まとめ・表現</p> <p>○ 防災・減災について調べたことをタブレットのスライドアプリでまとめ・表現する。(6時間)</p>	<p>・相手や目的に応じて,ICT機器を活用し,分かりやすく表現している。(スライド・発表の相互評価)</p>	<p>思考力・判断力・表現力④</p>	
<p>ふり返り</p> <p>○ 防災・減災について学んだことをふり返り,これから自分のすべきことを考える。(1時間)</p>	<p>・自分や家族・地域の人々を土砂災害から守るためには何をすべきか,自らすすんで課題を見つけ,課題解決のための方法を考えようとしている。(総合事後アンケート)</p>	<p>主体性①</p>	

本時の展開

本時の学習

(1) 本時の目標

防災や減災の知恵を地域の人に分かりやすく伝えるための改善策を考えることができる。

(2) 本時の評価規準

集めた情報を分かりやすくまとめ、伝えている。【思考力・判断力・表現力】

(3) 学習の展開 (第 26 時 / 全 35 時間)

学 習 活 動	主な発問 (◎) と発問 (○) 予想される児童・生徒の反応 (・)	●評価規準【観点】 ☆指導上の留意点
1 本時までの学習を振り返る。	○防災や減災の知恵について新聞にまとめていますが、どのようなことを工夫しましたか。 ・文だけでなく、イラストを使って説明した。	
2 本時のめあてを確認する。		
【めあて】防災や減災の知恵を地域の人に分かりやすく伝えるための改善策を考えよう。		
3 班内で分かりやすく伝えるための手順を考え、メモに整理する。	○班内で新聞の内容を発表するにあたり、どのような手順でどう伝えたらよいか考えましょう。 ・この部分が一番伝えたいことなので、強調して言えば分かるんじゃないかな。	思考を働かせる場の工夫 ☆班内のプレゼンテーションで意見交流をする中で、客観的に改善点に気づくことができるようにする。
4 班内で新聞のプレゼンテーションを行い、相互評価をする。	◎よいところと改善点を見つけ、さらに分かりやすくするためにはどうしたらよいか考えて評価を書きましょう。 ・写真が小さくて分かりにくいので、見せたい部分をトリミングした方がいいね。 ・この表現は小学生にも分かる言葉なのでいいね。	思考を表現する場の工夫 ☆ロイロノートの付箋に意見を記入して全体交流をする。
5 全体交流をする。	○各班で出た意見を全体で交流しましょう。	●集めた情報を分かりやすくまとめ、伝えている。 【思考力・判断力・表現力】 (ロイロノートの相互評価)
6 本時をふり返るとともに、今後の学習の見通しをもつ。	○みんなの意見を聞いて学んだことは何ですか。 ・何が一番伝えたいことが分かるようにすることが大切。	
【まとめ】「だれに」「何のために」伝えるのかを意識すると、より伝わりやすくなる。		
【期待される振り返り例】 ・小学生にも分かりやすい言葉を使うと、分かりやすいので、次の時間に自分の新聞を見直したい。 ・災害を減らすにはどうしたらよいかということが伝えたいので、それを中心に内容を整理し直したい。		

《課題》

1点目は、誰のために、何のためにする活動なのか、対象と目的をより明確に生徒に意識させることである。そのためには、課題設定の時間に、「土砂災害について、もっと知りたい。そして、防災・減災の知恵を地域の人に伝えて、地域に貢献したい。」と思えるようなしかけが必要である。「災害対応携帯マニュアル」の記述内容を丁寧に読み取らせ、それぞれの内容について自分の備えがどうであるか考えたり、分からない点についてどのように理解していくか考えたりさせることで達成できると考える。また、事前アンケートで、この単元の学習を通してつけたい力を示すことも必要である。

2点目は、生徒が何をどのようにすればよいか主体的に課題を設定して取り組めるような評価方法の工夫をすることである。活動の節目に、課題解決ルーブリック、レポートルーブリック、コミュニケーション・ルーブリック、発表スキルチェックなどの評価を取り入れることで、何をどのようにすればよいか理解させ、「次はこれをしよう。」という気持ちをもたせて主体的な学びにつなげたい。